

# 新採用職員 農家実習に 行ってきました!



真狩村 佐々木大輔さん宅にて9月28日～10月2日の5日間実習へ行ってきた岡中職員と出雲職員。



9月下旬から10月中旬にかけて、当JAの新採用職員は組合員さんのお宅に泊まり込みで農家実習を行いました。この実習は、農協職員として農家の生活を肌で感じ、農業に対する理解を深めるという目的で平成24年度から実施しております。本年は、新型コロナウイルスの影響により春の農家実習は中止となりましたが、秋は例年通り実施することができました。新採用職員4名の農家実習の感想をご紹介します。

俱知安支所 施設係

おかなか ゆうと

岡中 悠翔



今回の農家実習では、主にゆり根の作業を行いました。これまで実物を見たことがなく、名前すら知らない野菜でした。ゆり根自体は小さいですが作業は大変で、特に洗浄と茎抜きでは体力的に辛いものがあり、この作業を毎年行っている生産者の方々はすごいなと思いました。日常業務では野菜を目にする機会が多いですが、実際に体験して初めて、こんなに農作業が大変であることを学び、とても勉強になった実習でした。5日間、お世話になりました。

留寿都支所 施設係

いずも ひの

出雲 陽之



今回の農家実習では、ゆり根について深く学ぶことができました。ゆり根を実物で見たときはとても小さく、育てるのはあまり難しそうに見えませんでした。しかし、実際に作業を体験し、どの作物よりも作るのが難しく、時間もかかることが分かりました。今回の農家実習を通し、農家さんのサポートをすることの大切さを改めて実感しました。今後は農家さんと積極的に関わり、信頼される職員になりたいと思います。5日間ありがとうございました。

管理本部 企画経営課

しのはら かな

篠原 佳夏



今回の実習を通し、自然を相手にする仕事がどれほど大変であるかを痛感しました。雨が降っても寒くても、毎日朝早くから日が暮れるまで作業を続ける姿を見て、また、実際に体験し、改めていつも当たり前で食べている食材に感謝したいと思いました。普段の業務ではなかなか学ぶことのできないことを経験し、農業の楽しさや大変さなど、さまざまな発見があった実習でした。今回学んだことを今後の業務にいかしていきたいです。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

京極町 多田修さん宅にて10月12日～16日までの5日間実習へ行ってきた篠原職員と小林職員。



本店

こばやし ゆうな

小林 優菜



農家実習では、初めてハーベスターに乗り人参の収穫・選別作業をさせて頂きました。天候や土の質などの影響により、人参の育て方にばらつきがあることを学びました。なかなか思うように作物が育たないことが農業をする上での苦労だと改めて感じました。また、直接組合員さんとお話することができ、農業についてのさまざまな知識を学ぶことができました。多田さん、5日間大変お世話になりました。

受け入れて下さった組合員の皆さま、ありがとうございました。